

○葉山町都市計画マスタープラン（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

No.	ページ	頂いたご意見	町の対応(案)
1	P. 24	【意見 1】 8 都市環境に関する現状と課題 (3) 環境に対する負荷の小さい都市づくり 令和 3 年(2021年)に「はやま気候非常事態宣言」を表明するとともに、令和 4 年(2022年)に「第 3 次葉山町環境基本計画」を策定し、省エネルギーの徹底、再生可能エネルギーの有効利用・普及啓発、脱炭素の普及啓発に取り組んでいます。 今後も引き続き、分野横断的に連携して脱炭素化、循環型社会の確立に対応していくことが求められます。 上記文中に、『「令和 7 年（2025 年）「第 6 期葉山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）」の策定』を加えること 【提案理由】 第 6 期葉山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）の中、「はじめに」の欄内に『地域の特性に応じた具体的な施策を展開することにより、地域住民や事業者とともに地球温暖化対策に取り組むことで、持続可能な未来を築くことを目指します。』と記載されており、環境に対する負荷の小さな都市づくりに重要と考えたため。	ご提案の「第 6 期葉山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）」については、都市計画マスタープランの部門別計画の一つとして認識しておりますが、全ての部門別計画を羅列することが困難こと、環境基本計画と関連性が高い計画であることから、記載しないこととしました。
2	P. 53 P. 68 P. 79 P. 89	【意見 2】 3 都市環境形成の方針 3－1 防災・減災 ⑦公共施設関連の災害対策 第5章 地域づくりの方針（地域別構想） 1 海岸地域 2 山手地域 3 緑陰地域 共通 （2）地域づくりの方針 ④都市環境形成の方針 ・長期の停電によるリスクを回避し、エネルギー供給の自立化・多様化を図るため、再生可能エネルギーシステムやＥＶ（電気自動車）の蓄電池利用、自家発電機による電力確保など、自立分散型エネルギーシステムの導入の検討を進めます。 上記文章に『レジリエンス向上のため』を加える。 ・避難所等として利用する施設の整備、改修等により、衛生環境の確保を図ります。 上記文章に『停電時にも空調運転できる空調システムの導入することにより』を加える。 【提案理由】 葉山町地域防災計画（地震津波対策計画編） 第 2 部災害予防計画 第 1 章 地震に強いまちづくりの推進 第 4 節 建築物の防災化の推進 1 建築物の防災化 (3) 公共建築物の災害対策 中に記載されている指定避難所や医療救護所となる学校等の公共建築物の災害対策機能の強化について、 停電時でも空調等が継続できる都市ガスやLPGを燃料とした停電対応型ガスエンジンヒートポンプを用い、避難した人々の健康や生命を維持管理する上での重要な空調設備の検討を提案したいため。	記載の再生可能エネルギーシステムや自家発電などの電力確保がレジリエンス、つまり強靱化に資するものであることは承知しておりますが、本文内に記載せずとも方針の意図は表せていると考えております。 避難所等の改修の具体的な内容については、個別計画に委ねるものであるため、地域防災計画を所管している防災安全課及び公共施設を所管している公共施設課あてにご提案内容についてお伝えします。
3		私は長柄の逗葉新道沿いに住んでおりますが、家の前にまだ下水道が整備されていません。ところが、一本入った細い道路には下水道が既に整備されており、うちを含む3軒が取り残されている状況です。 現在は浄化槽を使用しておりますが、土壌の浸透が悪く、浸透枳が満水になってしまうため、トイレの水が流れにくくなるという深刻な問題が生じています。1日に何回かは、やむを得ずコンビニ等で買い物をしてトイレを利用する状況です。 このような状況は日常生活に大きな支障を及ぼすだけでなく、衛生面や子どもがいる家庭の生活環境にも影響を及ぼしています。役場に何度も相談していますが、「浸透枳の増設」など対症療法的な方法しか提案されておらず、根本的な解決には至っていません。 つきましては、マスタープランで示されている公共下水道整備の推進にあたり、我が家も含め、早期に具体的な整備計画を進めていただきたく存じます。生活基盤として公平なインフラ整備の実現をお願い申し上げます。	個別計画の進捗に関する事項となりますので、所管である下水道課にお伝えします。